



電池

E-Series storage systems

NetApp
January 20, 2026

目次

電池	1
バッテリーの交換要件- E2800	1
Recovery Guru のアラート	1
手順の概要	1
デュプレックス構成とシンプレックス構成です	1
バッテリーの交換に際しての要件	2
バッテリーを交換する準備- E2800	2
コントローラをオフラインにする（デュプレックス）	3
コントローラシェルフの電源をオフにする（シンプレックス）	4
コントローラキャニスターの取り外し- E2800	5
障害が発生したバッテリーの取り外し- E2800	7
新しいバッテリーの取り付け- E2800	9
コントローラキャニスターの再取り付け- E2800	11
バッテリー交換後の処理- E2800	13
コントローラをオンラインにする（デュプレックス）	13
コントローラの電源をオンにする（シンプレックス）	14

電池

バッテリーの交換要件- E2800

E2800 バッテリーを交換する前に、要件と考慮事項を確認してください。

各コントローラキャニスターには、AC 電源で障害が発生した場合にキャッシュデータを保持するバッテリーが搭載されています。

Recovery Guru のアラート

SANtricity System Manager の Recovery Guru から次のいずれかのステータスが報告された場合は、該当するバッテリーを交換する必要があります。

- バッテリーで障害が発生しました
- バッテリーの交換が必要です

SANtricity System Manager の Recovery Guru で詳細を確認し、問題にバッテリーが搭載されていること、および先に対処する必要がある項目がほかにないことを確認します。

手順の概要

データを保護するために、障害が発生したバッテリーはできるだけ早く交換する必要があります。

E2800 コントローラのバッテリーを交換するために必要な手順の概要を次に示します。

1. デュプレックス構成またはシンプレックス構成の該当する手順に従って、交換を準備します。
2. コントローラキャニスターを取り外します。
3. 障害が発生したバッテリーを取り外します。
4. 新しいバッテリーを取り付けます。
5. コントローラキャニスターを再度取り付けます。
6. デュプレックス構成またはシンプレックス構成の該当する手順に従って交換を完了します。

デュプレックス構成とシンプレックス構成です

バッテリーを交換する手順は、コントローラの数で 1 台か 2 台かによって次のように異なります。

ストレージレイのコントローラの数	実行する手順
2 台 (デュプレックス)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コントローラをオフラインにします。 2. コントローラキャニスターを取り外します。 3. バッテリーを交換します。 4. コントローラキャニスターを交換します。 5. コントローラをオンラインにします。
1 台 (シンプレックス)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホスト I/O 処理を停止します。 2. コントローラシェルフの電源をオフにします。 3. コントローラキャニスターを取り外します。 4. バッテリーを交換します。 5. コントローラキャニスターを交換します。 6. コントローラシェルフに電源を投入します。

バッテリーの交換に際しての要件

障害が発生したバッテリーを交換する場合は、次の準備をしておく必要があります。

- 交換用バッテリー。
- ESD リストバンドを装着するか、静電気防止処置を施しておきます。
- コントローラキャニスターに接続する各ケーブルを識別するためのラベル。
- コントローラの SANtricity System Manager にアクセスできるブラウザを備えた管理ステーション。（System Manager インターフェイスを開くには、ブラウザでコントローラのドメイン名または IP アドレスを指定します）。

バッテリーを交換する準備- E2800

バッテリー交換準備の手順は、デュプレックス構成（コントローラが 2 台）とシンプレックス構成（コントローラが 1 台）で異なります。

- デュプレックス構成については、を参照してください [\[コントローラをオフラインにする（デュプレックス）\]](#)。
- シンプレックス構成の場合は、を参照してください [\[コントローラシェルフの電源をオフにする（シンプレックス）\]](#)。

作業を開始する前に

- 使用中のボリュームがないこと、またはボリュームを使用しているすべてのホストにマルチパスドライバがインストールされていることを確認します。
- を確認します ["E2800 バッテリーの交換に際しての要件"](#)。

コントローラをオフラインにする（デュプレックス）

デュプレックス構成の場合、障害が発生したバッテリーを安全に取り外せるように、該当するコントローラをオフラインにする必要があります。オフラインに切り替えないコントローラはオンライン（最適状態）である必要があります。



このタスクは、コントローラが 2 台のストレージレイ（デュプレックス構成）でのみ実行します。

手順

1. SANtricity System Manager の Recovery Guru で詳細を確認し、問題にバッテリーが搭載されていること、および先に対処する必要がある項目がほかがないことを確認します。
2. Recovery Guru の詳細領域で、交換するバッテリーを特定します。
3. SANtricity システムマネージャを使用して、ストレージレイの構成データベースをバックアップします。

コントローラを取り外すときに問題が発生した場合は、保存したファイルを使用して構成をリストアできます。RAID 構成データベースの現在の状態が保存されます。これには、コントローラ上のボリュームグループとディスクプールのすべてのデータが含まれます。

◦ System Manager から：

- i. メニューを選択します。 Support [Support Center > Diagnostics]（サポートセンター > 診断）。
- ii. [構成データの収集 *] を選択します。
- iii. [Collect](収集) をクリックします

ブラウザの Downloads フォルダに、「 * configurationdata-<ArrayName>-<dateTime >.7z * 」という名前でファイルが保存されます。

◦ または、次の CLI コマンドを使用して構成データベースをバックアップすることもできます。

```
'ave storageArray dbmDatabase sourceLocation=onboard contentType=all file="filename";'
```

4. SANtricity システムマネージャを使用してストレージレイのサポートデータを収集します。

コントローラを取り外し時に問題が発生した場合は、保存したファイルを使用して問題のトラブルシューティングを行うことができます。ストレージレイに関するインベントリ、ステータス、およびパフォーマンスデータが 1 つのファイルに保存されます。

- a. メニューを選択します。 Support [Support Center > Diagnostics]（サポートセンター > 診断）。
- b. 「サポートデータの収集」を選択します。
- c. [Collect](収集) をクリックします

ブラウザの Downloads フォルダに、「 * support-data.7z * 」という名前でファイルが保存されます。

5. コントローラがオフラインでない場合は、SANtricity System Manager を使用してオフラインにします。
 - SANtricity システムマネージャで次の作業を行います。
 - i. 「 * ハードウェア * 」を選択します。

- ii. 図にドライブが表示されている場合は、* Show back of shelf * を選択してコントローラを表示します。
- iii. オフラインに切り替えるコントローラを選択します。
- iv. コンテキストメニューから * オフラインに切り替え * を選択し、操作を確定します。



オフラインにするコントローラを使用して SANtricity System Manager にアクセスしている場合は、「SANtricity System Manager を利用できません」というメッセージが表示されます。別のコントローラを使用して SANtricity System Manager に自動的にアクセスするには、* 代替ネットワーク接続に接続する * を選択します。

◦ または、次の CLI コマンドを使用してコントローラをオフラインにすることもできます。

- コントローラ A : * 'et controller [a] availability=offline
- コントローラ B の場合 : * 'et controller [b] availability=offline

6. SANtricity System Manager でコントローラの状態がオフラインに更新されるまで待ちます。

7. に進みます ["E2800 コントローラキャニスターを取り外します"](#)。



ステータスの更新が完了するまでは、他の処理を開始しないでください。

コントローラシェルフの電源をオフにする (シンプレックス)

シンプレックス構成の場合、障害が発生したバッテリーを安全に取り外せるように、コントローラシェルフの電源をオフにする必要があります。



このタスクは、コントローラが 1 台のストレージアレイ (シンプレックス構成) でのみ実行します。

手順

1. SANtricity システムマネージャを使用して、ストレージアレイの構成データベースをバックアップします。

コントローラを取り外すときに問題が発生した場合は、保存したファイルを使用して構成をリストアできます。RAID 構成データベースの現在の状態が保存されます。これには、コントローラ上のボリュームグループとディスクプールのすべてのデータが含まれます。

◦ System Manager から :

- i. メニューを選択します。 Support [Support Center > Diagnostics] (サポートセンター > 診断) 。
- ii. [構成データの収集 *] を選択します。
- iii. [Collect](収集) をクリックします

ブラウザの Downloads フォルダに、「* configurationdata-<ArrayName>-<dateTime >.7z *」という名前でファイルが保存されます。

◦ または、次の CLI コマンドを使用して構成データベースをバックアップすることもできます。

```
'ave storageArray dbmDatabase sourceLocation=onboard contentType=all file="filename";'
```

2. SANtricity システムマネージャを使用してストレージレイのサポートデータを収集します。

コントローラの取り外し時に問題が発生した場合は、保存したファイルを使用して問題のトラブルシューティングを行うことができます。ストレージレイに関するインベントリ、ステータス、およびパフォーマンスデータが 1 つのファイルに保存されます。

- a. メニューを選択します。Support [Support Center > Diagnostics] (サポートセンター > 診断)。
- b. 「サポートデータの収集」を選択します。
- c. **[Collect]**(収集) をクリックします

ブラウザの Downloads フォルダに、「* support-data.7z *」という名前でファイルが保存されます。

3. ストレージレイと接続されているすべてのホストの間で I/O 処理が発生しないようにします。たとえば、次の手順を実行します。
 - a. ストレージからホストにマッピングされた LUN に関連するすべてのプロセスを停止します。
 - b. ストレージからホストにマッピングされた LUN にアプリケーションがデータを書き込んでいないことを確認します。
 - c. アレイのボリュームに関連付けられているファイルシステムをすべてアンマウントします。



ホスト I/O 処理を停止する具体的な手順はホストオペレーティングシステムや構成によって異なり、ここでは説明していません。環境内でホスト I/O 処理を停止する方法がわからない場合は、ホストをシャットダウンすることを検討してください。



* データ損失の可能性 * - I/O 処理の実行中にこの手順を続行すると、データが失われる可能性があります。

4. キャッシュメモリ内のデータがドライブに書き込まれるまで待ちます。

キャッシュされたデータをドライブに書き込む必要がある場合は、コントローラの背面にある緑のキャッシュアクティブ LED が点灯します。この LED が消灯するまで待つ必要があります。

5. SANtricity システムマネージャのホームページで、「* 進行中の処理を表示」を選択します。
6. すべての処理が完了したことを確認してから、次の手順に進みます。
7. コントローラシェルフの両方の電源スイッチをオフにします。
8. コントローラシェルフのすべての LED が消灯するまで待ちます。
9. に進みます **"E2800 コントローラキャニスターを取り外します"**。

コントローラキャニスターの取り外し- E2800

バッテリーを取り外すためには、コントローラキャニスターをコントローラシェルフから取り外す必要があります。

コントローラキャニスターを取り外すときは、すべてのケーブルを外す必要があります。その後、コントローラキャニスターをスライドしてコントローラシェルフから外すことができます。

作業を開始する前に

次のものがあることを確認します。

- ESD リストバンドを装着するか、静電気防止処置を施しておきます。
- コントローラキャニスターに接続する各ケーブルを識別するためのラベル。

手順

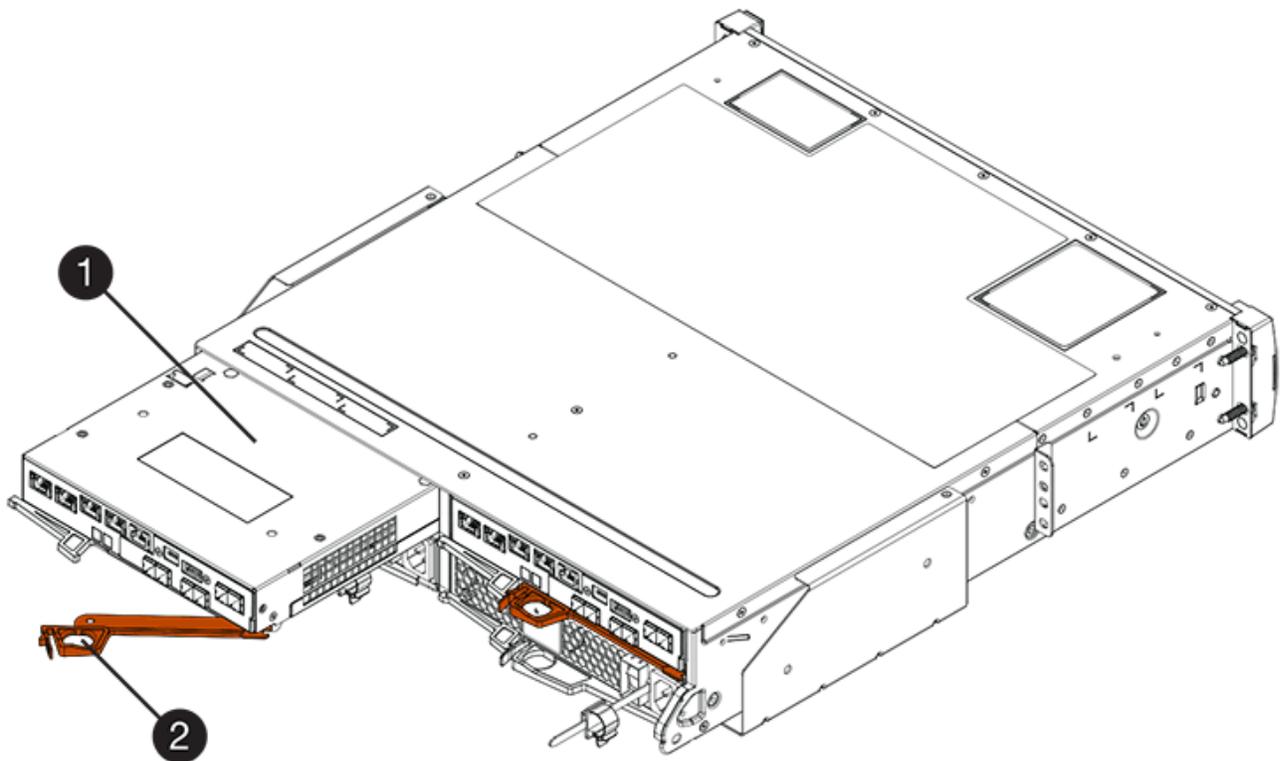
1. ESD リストバンドを装着するか、静電気防止処置を施します。
2. コントローラキャニスターに接続された各ケーブルにラベルを付けます。
3. コントローラキャニスターからすべてのケーブルを外します。



パフォーマンスの低下を防ぐために、ケーブルをねじったり、折り曲げたり、はさんだり、踏みつけたりしないでください。

4. コントローラキャニスターのホストポートで SFP+ トランシーバを使用している場合は、取り付けたままにしておきます。
5. コントローラの背面にあるキャッシュアクティブ LED が消灯していることを確認します。
6. カムハンドルのラッチを外れるまで押し、カムハンドルを右側に開いてコントローラキャニスターをシェルフから外します。

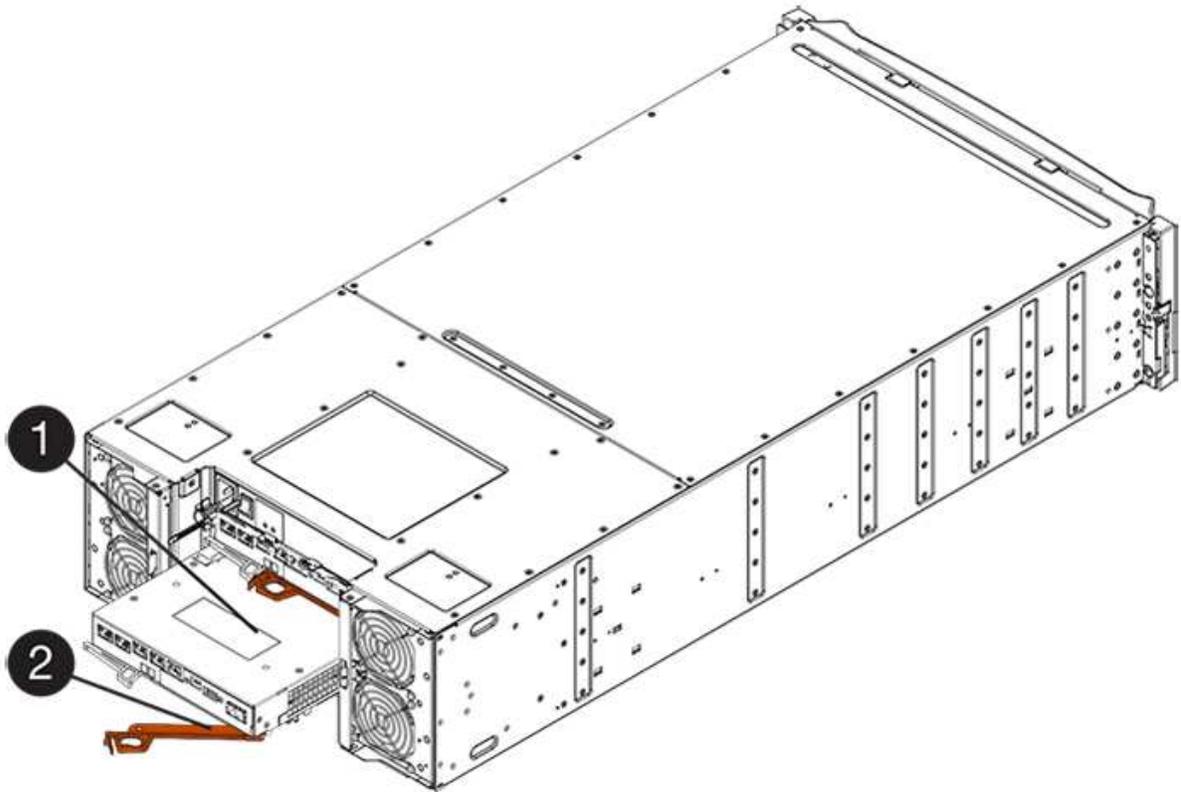
次の図は、E2812 コントローラシェルフ、E2824 コントローラシェルフ、または EF280 フラッシュアレイの例です。



◦ (1) *_コントローラキャニスター_

◦ (2) *_CAM ハンドル_

次の図は、E2860 のコントローラシェルフの例です。



◦ (1) *_コントローラキャニスター_

◦ (2) *_CAM ハンドル_

7. 両手でカムハンドルをつかみ、コントローラキャニスターをスライドしてシェルフから引き出します。



コントローラキャニスターは重いので、必ず両手で支えながら作業してください。

E2812 コントローラシェルフ、E2824 コントローラシェルフ、または EF280 フラッシュアレイでは、コントローラキャニスターを取り外すと、可動式のふたが所定の位置に戻って、通期と冷却が維持されません。

8. 取り外し可能なカバーが上になるようにコントローラキャニスターを裏返します。

9. コントローラキャニスターを静電気防止処置を施した平らな場所に置きます。

10. に進みます ["障害が発生した E2800 バッテリーを取り外します"](#)。

障害が発生したバッテリーの取り外し- E2800

コントローラキャニスターをコントローラシェルフから取り外したら、バッテリーを取り外すことができます。

手順

1. コントローラキャニスターのカバーをボタンを押し下げながらスライドして取り外します。

2. コントローラ内部（バッテリーと DIMM の間）の緑の LED が消灯していることを確認します。

この緑の LED が点灯している場合は、コントローラがまだバッテリー電源を使用しています。この LED が消灯するのを待ってから、コンポーネントを取り外す必要があります。

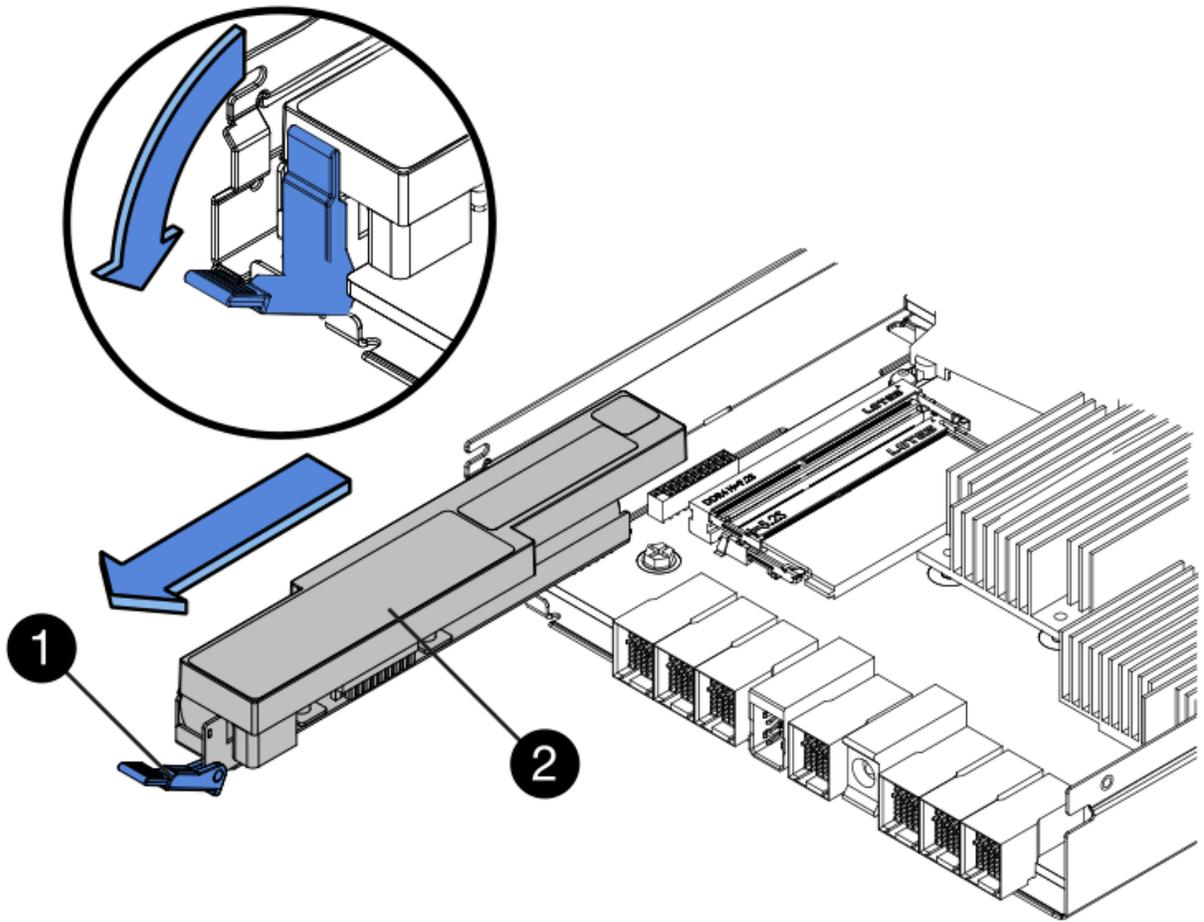


◦ (1) * _内部キャッシュアクティブ_

◦ (2) * _バッテリー_

3. バッテリーの青色のリリースラッチの位置を確認します。

4. バッテリーをリリースラッチを押し下げながら引き出し、コントローラキャニスターから外します。



- (1) * _ バッテリリリースラッチ _
- (2) * _ バッテリ _

5. バッテリを持ち上げながらスライドし、コントローラキャニスターから引き出します。
6. 障害が発生したバッテリーをリサイクルまたは廃棄するには、地域の該当する手順に従ってください。



国際航空運送協会（IATA）の規制に従い、コントローラシェルフに搭載されているものを除き、リチウムバッテリーは航空便で送らないでください。

7. に進みます ["新しいバッテリーを取り付けます"](#)。

新しいバッテリーの取り付け- E2800

障害が発生したバッテリーを取り外したあと、新しいバッテリーを取り付けることができます。

作業を開始する前に

次のものがあることを確認します。

- 交換用バッテリー。

- 静電気防止処置を施した平らな表面。

手順

1. 新しいバッテリーを開封し、静電気防止処置を施した平らな場所に置きます。



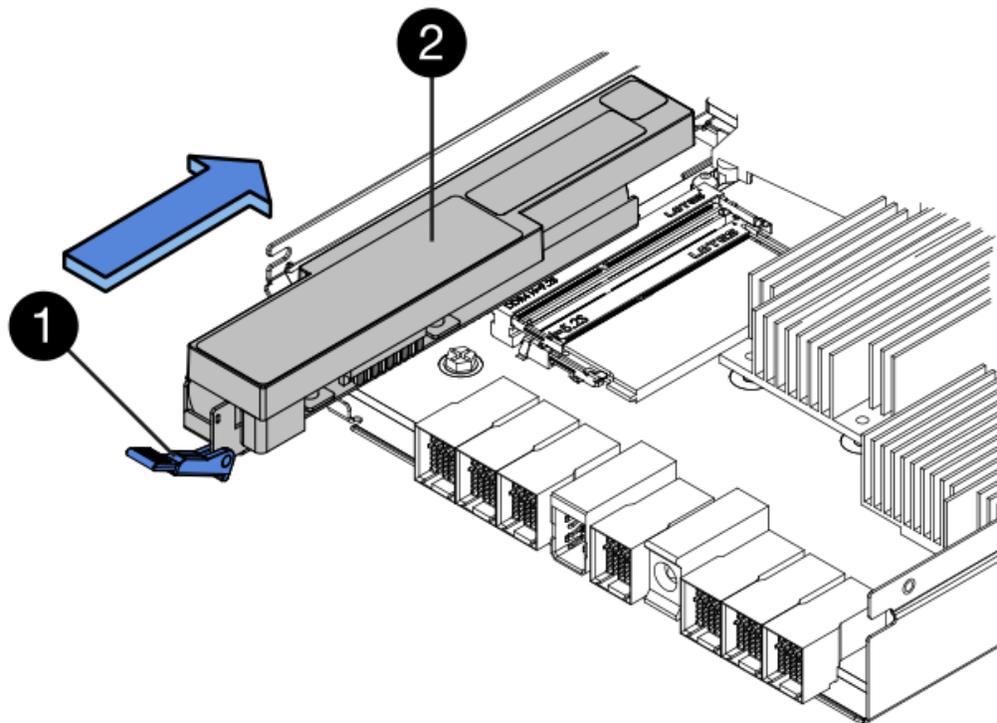
IATA 安全規則に準拠するため、交換用バッテリーは 30% 以下の充電状態（SoC）で出荷されます。交換用バッテリーに電源を再投入したあと、フル充電されて最初の学習サイクルが完了するまでは、書き込みキャッシュが再開されないことに注意してください。

2. バッテリーのロットが手前になるようにコントローラキャニスターの向きを変えます。
3. バッテリーを少し下に傾けながらコントローラキャニスターに挿入します。

バッテリー前部の金属製のフランジをコントローラキャニスター下部のロットに挿入し、バッテリーの上部がキャニスターの左側にある小さな位置決めピンの下にくるまでスライドする必要があります。

4. バッテリーラッチを上には動かしてバッテリーを固定します。

カチッという音がしてラッチが固定されると、ラッチの下部がシャーシの金属製のロットに収まります。



- (1) *_ バッテリーリリースラッチ _
- (2) *_ バッテリー _

5. コントローラキャニスターを裏返し、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。



* ハードウェアの破損の可能性 * - バッテリ前部の金属製のフランジがコントローラキャニスターのスロットにしっかりと挿入されている必要があります（1つ目の図）。バッテリーが正しく取り付けられていないと（2つ目の図）、金属製のフランジがコントローラボードに接触し、電源を投入したときにコントローラの破損の原因となる可能性があります。

◦ * 正解 * - バッテリの金属製のフランジがコントローラのスロットにしっかりと挿入されています。



◦ 不正解--バッテリーの金属製フランジがコントローラのスロットに挿入されていません



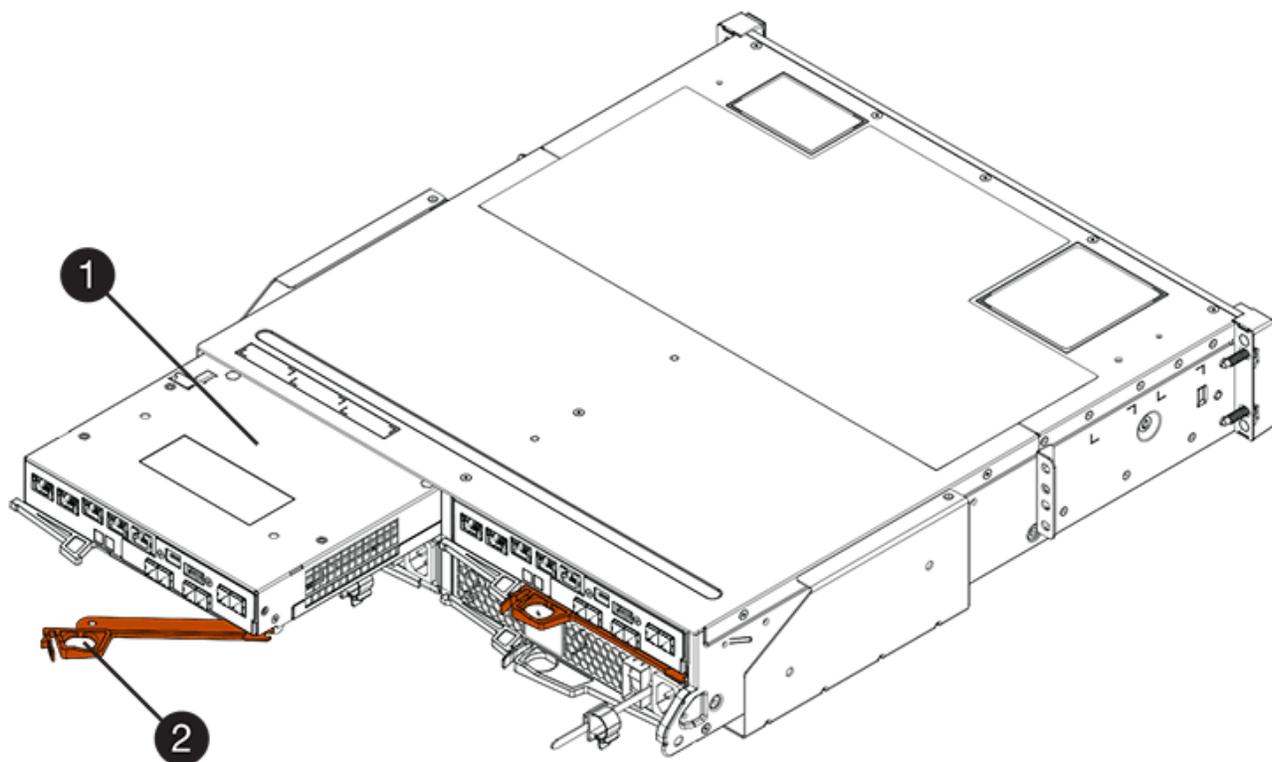
6. に進みます "E2800 コントローラキャニスターを再度取り付けます"。

コントローラキャニスターの再取り付け- E2800

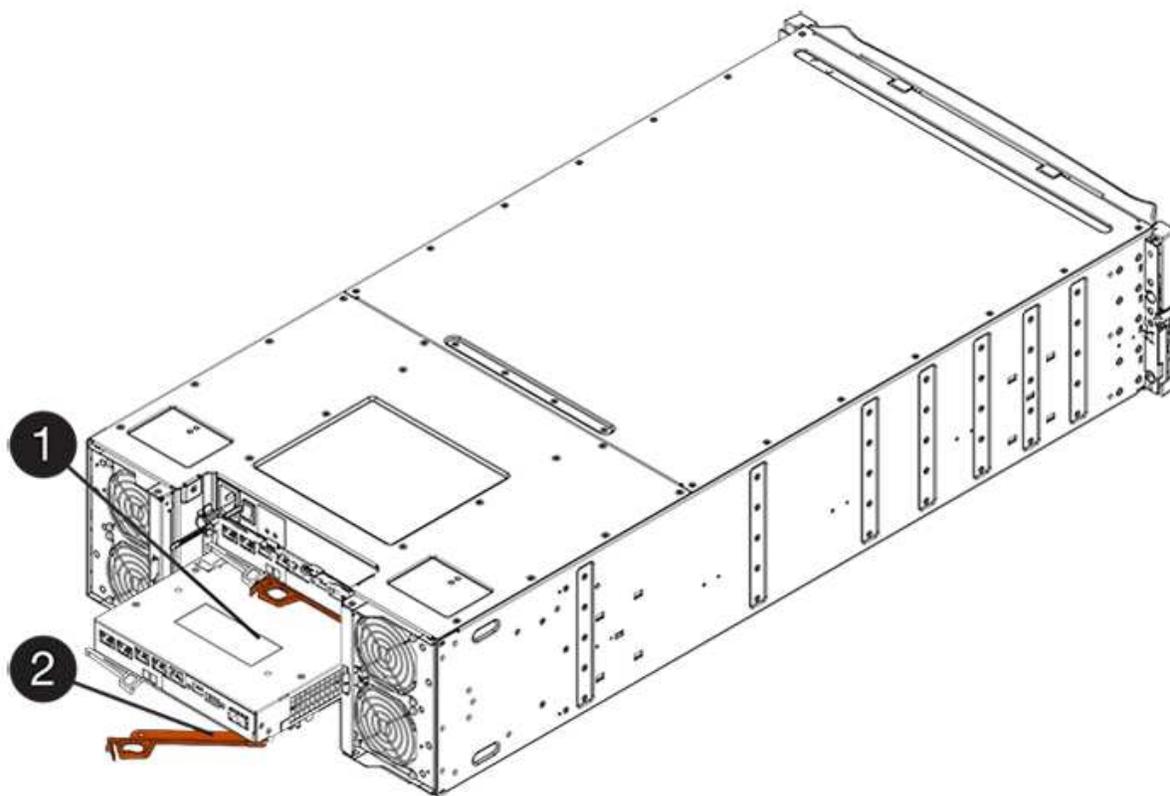
新しいバッテリーを取り付けたあと、コントローラキャニスターをコントローラシェルフに再度取り付けます。

手順

1. カチッという音がしてボタンが固定されるまでカバーを前方から後方にスライドして、コントローラキャニスターにカバーを再度取り付けます。
2. 取り外し可能なカバーが下になるようにコントローラキャニスターを裏返します。
3. カムハンドルを開いた状態でコントローラキャニスターをスライドし、コントローラシェルフに最後まで挿入します。



- (1) * _コントローラキャニスター_
- (2) * _CAM ハンドル_



- (1) * _コントローラキャニスター_

- (2) *_CAM ハンドル_

- カムハンドルを左側に動かして、コントローラキャニスターを所定の位置にロックします。
- すべてのケーブルを再接続します。
- に進みます "E2800 バッテリーの交換後の処理"。

バッテリー交換後の処理- E2800

バッテリー交換後の手順は、デュプレックス構成（コントローラが 2 台）とシンプレックス構成（コントローラが 1 台）で異なります。

- デュプレックス構成については、を参照してください [コントローラをオンラインにする（デュプレックス）]。
- シンプレックス構成の場合は、を参照してください [コントローラの電源をオンにする（シンプレックス）]。

コントローラをオンラインにする（デュプレックス）

コントローラをオンラインにし、ストレージアレイが正しく動作していることを確認します。その後、サポートデータを収集し、運用を再開できます。



このタスクは、コントローラが 2 台のストレージアレイでのみ実行します。

手順

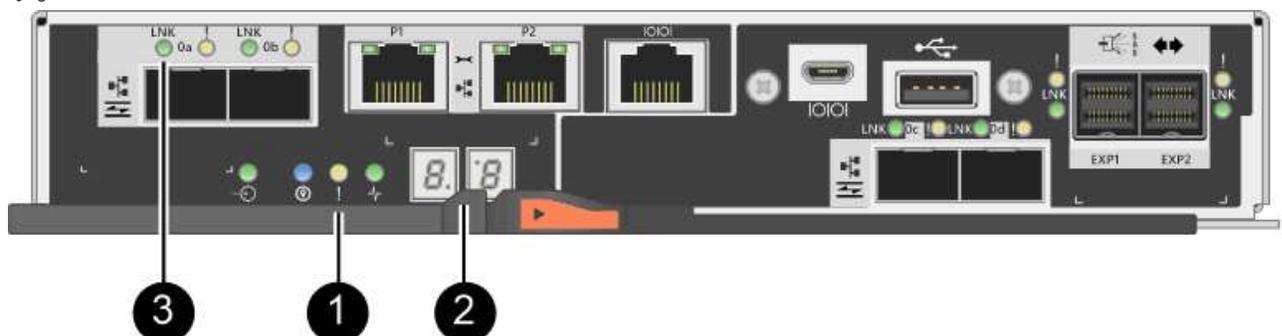
- コントローラのブート時に、コントローラの LED とデジタル表示ディスプレイを確認します。



この図はコントローラキャニスターの例を示したものです。ホストポートの数やタイプは、コントローラによって異なる場合があります。

もう一方のコントローラとの通信が再確立されると次のような状態

- デジタル表示ディスプレイの表示が、コントローラがオフラインになっていることを示す連続した * OS *、* OL *、* _blank_ * と表示されます。
- 黄色の警告 LED が点灯したままになります。
- ホストリンクLEDは、ホストインターフェイスに応じて、点灯、点滅、消灯のいずれかになります。



- (1) *_Attention LED (アンバー)_

- (2) * _デジタル 表示ディスプレイ _
- (3) * _ ホストリンク LED _

2. SANtricity System Manager を使用して、コントローラをオンラインにします。

- SANtricity システムマネージャで次の作業を行います。
 - i. 「* ハードウェア *」を選択します。
 - ii. 図にドライブが表示されている場合は、* シェルフの背面を表示 * を選択します。
 - iii. オンラインに切り替えるコントローラを選択します。
 - iv. コンテキストメニューから * オンラインに配置 * を選択し、操作を確定します。

コントローラがオンラインになります。

- または、次の CLI コマンドを使用して、コントローラをオンラインに戻すこともできます。
 - コントローラ A の場合： `*et controller [a] availability=online;`
 - コントローラ B の場合： `* 'et controller [b] availability=online ; ``

3. コントローラがオンラインに戻ったら、ステータスが「最適」になっていることを確認し、コントローラシェルフの警告 LED を確認します。

ステータスが「最適」でない場合やいずれかの警告 LED が点灯している場合は、すべてのケーブルが正しく装着され、バッテリーとコントローラキャニスターが正しく取り付けられていることを確認します。必要に応じて、コントローラキャニスターとバッテリーを取り外して再度取り付けます。



問題が解決しない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

4. 必要に応じて、SANtricity System Manager を使用してストレージレイのサポートデータを収集します。
- a. メニューを選択します。Support [Support Center > Diagnostics] (サポートセンター > 診断)。
 - b. 「サポートデータの収集」を選択します。
 - c. **[Collect]**(収集) をクリックします

ブラウザの Downloads フォルダに、「* support-data.7z *」という名前でファイルが保存されます。

次の手順

これでバッテリーの交換は完了です。通常の運用を再開することができます。

コントローラの電源をオンにする (シンプレックス)

コントローラシェルフの電源をオンにして、正しく動作していることを確認します。その後、サポートデータを収集し、運用を再開できます。



このタスクは、コントローラが 1 台のストレージレイでのみ実行します。

手順

1. コントローラシェルフの背面にある 2 つの電源スイッチをオンにします。

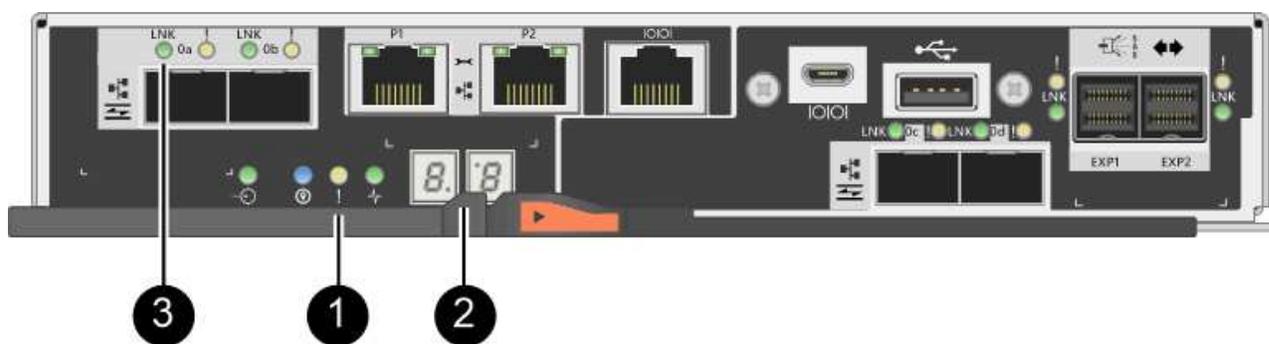
- 電源投入プロセスの実行中は電源スイッチをオフにしないでください。通常、このプロセスは 90 秒以内に完了します。
- 各シェルフのファンは起動時に大きな音を立てます。起動時に大きな音がしても問題はありません。

2. コントローラのブート時に、コントローラの LED とデジタル表示ディスプレイを確認します。

- デジタル表示ディスプレイの表示が、* OS *、* SD *、* blank * の順に切り替わり、コントローラで一日の最初の処理（SOD）を実行中であることが示されます。コントローラのブートが完了すると、デジタル表示ディスプレイにトレイ ID が表示されます。
- コントローラの黄色の警告 LED が点灯したあと、エラーがなければ消灯します。
- 緑色のホストリンク LED が点灯します。



この図はコントローラキャニスターの例を示したものです。ホストポートの数やタイプは、コントローラによって異なる場合があります。



- (1) * _Attention LED (アンバー) _
- (2) * _デジタル表示ディスプレイ _
- (3) * _ホストリンク LED _

3. コントローラのステータスが「最適」になっていることを確認し、コントローラシェルフの警告 LED を確認します。

ステータスが「最適」でない場合やいずれかの警告 LED が点灯している場合は、すべてのケーブルが正しく装着され、バッテリーとコントローラキャニスターが正しく取り付けられていることを確認します。必要に応じて、コントローラキャニスターとバッテリーを取り外して再度取り付けます。



問題が解決しない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

- 必要に応じて、SANtricity System Manager を使用してストレージレイのサポートデータを収集します。
- メニューを選択します。Support [Support Center > Diagnostics] (サポートセンター > 診断)。
- 「サポートデータの収集」を選択します。
- [Collect](収集) をクリックします

ブラウザの Downloads フォルダに、「* support-data.7z *」という名前でファイルが保存されます。

次の手順

これでバッテリーの交換は完了です。通常の運用を再開することができます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。